

【004_無敗最速デイトレ講座】『目線』を決めるテクニカル ～2番ライン～

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

前回のメールでは『目線固定』の重要性について理解を深めてもらいながら

1番ラインとトレンドについての解説をしていきました。

今回のメールでは、『目線固定』の一環として中長期環境分析に用いる定義ライン 2番ラインの引き方について説明します。

□

└─ 2番ラインの定義と引き方

└──────────────────

2番ライン はイメージで示すとこのような位置に引かれます。

▼イメージ図はコチラ▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2nd_line.png

言葉で説明すると

高値 / 安値(トレンド形成に関わる 1番ライン)を更新した

『波の起点』に引かれるのが 2番ラインということになります。

つまり、ここを突破されると、一番下には 1番ライン が控えていることになるので

トレンドベースの目線をキープするための『最終防衛ライン』という位置づけになります。

そのため『目線の固定、切り替え』が起こる場合の多い、非常に重要なラインです。

このライン付近まで押し・戻し(プルバック)が入っているチャートでは、より慎重に反転のサインを見究めて

ある程度大きな利幅を狙って行きたいポイントになる場合が多いです。

また、ラインを引くと同時に意識するのは『ラインに対する反応』です。

大抵、ラインというとイメージ的に

「ラインに当たってから反発」をイメージする人が多いと思いますが。。。

もう一つ、『ラインをブレイクしたら、その方向へ伸びる』ケースというもの

『目線』を決める重要な要素になります。

イメージしやすいように、一つ事例を紹介しますね。

▼日足の2番(1番)ラインに対する反応から目線を決める例▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/220113_pic2.png

2番ラインは、そのラインの性質上、前回説明した1番ラインと近い位置に引かれます。

つまり、2番ラインを突破された場合、その次の1番ラインが従来のトレンド目線を守る

『最後の砦』となるため、逆にラインを突破された場合は、『目線の切り替え』を考え始めるわけです。

～～

ラインが守られれば、反発方向に目線を固定するし

一方でブレイクされたら、ブレイク方向に目線を固定してプルバックを待つ。。。

～～

言葉にすると簡単な事なのですが、『目線の固定』という作業自体は『自分の中での決めごと』に他ならないので、決める基準がアヤフヤになると途端に自分のトレードの方向性が「迷子」になってしまいます。

公式サイトには、定義ラインと呼んでいるラインは4種類ありますが
実際デイトレ規模でトレードを実践するのであれば、今回までに紹介した2種類のラインを基本として覚えておいて貰えればOKです。

あとは、実チャートの中で線引きをしながら
ラインに反発した時、ブレイクした時、他の時間足(主に下位足)でどんな反応をしているのか？
それを言語化するイメージで検証を行ってみてください。

もちろん、全てのチャートが言葉にしやすいような、分かりやすい動きをしてくれるわけではないので
「わからない動き」と感じたものが出てきても、それは全然問題ありません。

寧ろ、「わからない」と理解する事が、無駄打ちをしない考え方にも繋がりますからね。

今回例示したチャートなどを参考にして、実際のチャートで自分でも
1番ライン(+トレンド把握)、2番ラインを引いてみて、そのラインにプライスが再度到達したとき
下位足の反応がどうなっているのか？

そういった検証を是非やってみてくださいね。

それでは、また次回のメールで！